



## 高速道路建設現場見学実施！

新型コロナウイルス感染拡大防止のため職場体験活動の実施ができなくなりましたので、今年度は、今現在建設が進んでいる東北中央道の建設現場を見学することとなりました。30分という短い時間ではありましたが、ICT土木という情報化土木によって建設を進めていることを学び、土木建設のイメージが変わったという2年生も多かったようです。職業に対することや地域の環境整備について視野を広げることができた体験でした。

1組



2組



3組



4組



礼状を書く代表



ドローンで記念撮影



### 終業式までの予定

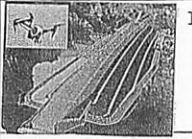
まとめのレポートは、裏面に掲載しました。

日	曜日	1校時	2校時	3校時	4校時	給食	5校時	6校時	清掃	部活	行事・連絡等
20	月	1	2	3	4	○	5	6	○	○	
21	火	1	2	3	4	○	5	6	○	○	
22	水	1	2	3	4	○	5	6	×	×	ノーマディアデー
23	木	海の日									
24	金	スポーツの日									
27	月	1	2	3	4	○	5	6	○	○	
28	火	1	2	3	4	○	5	6	○	○	
29	水	金1	金2	金3	金4	○	金5		×	×	1, 2年学年・学級懇談会15:00
30	木	1	2	3	4	○	5	6	○	×	
31	金	水1	水2	愛校作業	終業式	○			○	×	下校13:00 完全下校13:20



職場体験学習レポート

2年 1組 15番 氏名 高橋 忍 杜



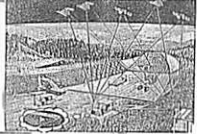
建設現場のICT化

近年の衛星測位技術等の進

展とICT化により、屋外の建設現場において、ICT建設機械とデータ活用による生産性が向上してきています。自動制御が可能なICT建設機械により、経路の浅いオペレーターでも施工ができるようになり、生産性の向上が期待されています。ICT化により作業能力が高くなり、作業時間も短縮される可能性があります。

建設現場の課題

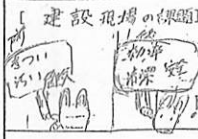
今建設業界にICT化が求められている理由として挙げられるのは、少子高齢化による深刻な人手不足です。建設業就労者の高齢化による離職「きつい・汚い・危険」という「3K職場」のイメージが強く、若い人材が就労離脱として建設業を離れる人が多くなっています。実際に建設業就労者年齢構成が全体の5割以上が50歳以上と高齢化が進んでいます。



感想・反省・学んだこと
僕は今まで建設業は地味で面白くないと思っていました。実際に現場に行き、ICT化された機械に乗ってみたいという思いが湧きました。ICT化により作業能力が高くなり、作業時間も短縮される可能性があります。

職場体験学習レポート

2年 4組 14番 氏名 佐藤 美月



建設現場にICT化が求められている。ICTはInformation and Communication Technologyのことである。

なぜICT化が求められているのか？それは「きつい・汚い・危険」という「3K職場」における深刻な人手不足（少子高齢化）により若い人材が就労離脱として建設業を離れるからである。ICT化により、経路の浅いオペレーターでも施工ができるようになり、生産性の向上が期待されています。ICT化により作業能力が高くなり、作業時間も短縮される可能性があります。

ICT建設機械とは

ICT建設機械とは、自動制御が可能な建設機械であり、操縦経験の少ないオペレーターでも高度な施工が出来る。



よくなり、負を軽減しながら、生産性の維持・向上が可能になった機械である。どんな機械があるのかというところ。建設機械利用での作業や高所作業の減少により、安全性が飛躍的に向上。一人一人の生産性向上と、建設現場に携わる人の働きやすさの向上。2つをまとめると、「きつい」と「安全性」がぐんと上がったのでは。

感想・反省・学んだこと
ICT化が進む前は、イメージ（きつい・汚い・危険）が悪く、人手不足などで大変な状況だった。ICT化が進む後は、イメージ（きつい・汚い・危険）が悪く、人手不足などで大変な状況だった。ICT化が進む後は、イメージ（きつい・汚い・危険）が悪く、人手不足などで大変な状況だった。

職場体験学習レポート

2年 2組 8番 氏名 栗城 陸 菜子



ICTのメリット

ICTとは簡単に言うと、情報通信技術の事です。ICTには、生産性の向上が期待されています。

されています。例えば「盛土工事（法面整形）」では、今までは「張り」を行ってから法面整形作業に入っていましたが、ICTの施工ではモニターで管理ができるので「張り」が不要になりました。このように、ICTを使うと、全作業工程において効率がUPするので、最近色々な作業に用いられています。

3K職場と新3K

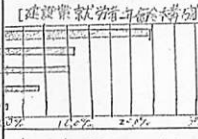
3K職場とは「きつい・汚い・危険」、新3Kとは「給与が良い、休暇が取れる、希望が持てる」という事を言います。最近、少子高齢化が深刻になり、建設業就労者の約45%が50歳以上と分っています。今の若い人たちが3K職場のイメージを持っている人が多くいるので、建設業の人たちが少なくなっています。そして新3Kは、ICTを使う事で、新しくできた3Kのことです。



感想・反省・学んだこと
最近ICT（情報通信技術）を使っているのが分かりました。ICTを使う事で、3K職場が新3Kに変わっていくと思った。他にも、資料を見て、土工事の施工手順には、単純だと思っていたが、色々な作業工程があった。色々な機械があってびっくりしてしまいました。

職場体験学習レポート

2年 3組 12番 氏名 清水 圭祐



建設現場の課題と取り組み

現在の建設現場にはICT（情報通信技術）が求められています。

少子高齢化や気象現象などによる生産性の低下が課題となっている中、ICTを活用し、機械やデータを利用した効率の向上、清潔で安全な環境作りが可能になりました。これまでは「張り」として手作業だった作業も、ICTを使い「張り」が不要になり、モニターでの管理などが可能になりました。

土工事の施工手順の従来とICTの比較

土工事は従来は図面情報から座標を計算し、測量・丁張り・施工・検測と繰り返して作業し、出稼の管理、情報も検査するという工程でしたがICTを使うと、測量・丁張り・検測が不要になり、3DCADデータを使用し、作成したUAV等により短時間でデータの取得が可能になり、全作業工程において効率があがりました。



感想・反省・学んだこと
今回の職場体験で、工事現場では様々なことを考えて行動し、自分の判断ひとつで変わっていく難しい現場であることが分かりました。また、これで職業のイメージが変わりました。一つ一つの経験として活かしていきたいと思っています。